

嘉麻市社協だより

えがお

No. 94

発行日/ 2013.12.1

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

山野第一で男性料理教室開催

今が旬の『料理男子』



10月20日(日)、千手小学校で「第3回けやき音楽会」が開催されました。来年3月で閉校する同校にとって最後の音楽会で、当日は千手地区の方など約400名が来校されました。

校庭にあるけやきの木は、明治36年8月に植えられ、その後高さ約23メートル、幹回り約6メートルに育ち、地域のシンボルとなっています。

「けやきの歌」は、平成4年度に在籍の児童が作詞、当時の同校職員が作曲されたもので、全校集会や学校行事の時には、校歌と一緒に歌われています。

当日のオープニングセレモニーでも、全校生徒71名が体を揺らしながら一生懸命歌いました。曲の2番は6年生の4名によるソロで、緊張しながらも一人ひとりの声がしっかりと響き渡り、会場からはたくさん拍手が送られました。その後は体育館で音楽会が行われ、第

一部の音楽劇「けやきものがたり」では、学校の歴史や子どもたちの感謝の気持ちなどが歌やセリフで表され、心が込められた手作りの劇に会場のみなさんも見入っていました。プロの音楽家による指導も受けながら1ヵ月以上練習を重ねたそうので、児童のみなさんの愛情が伝わってきました。

第二部では、児童を指導された音楽家のみなさんによるオペラの歌や楽器の演奏があり、いろいろな音楽をみんなで楽しみました。

6年生の矢賀部叶佳さん(やかべきょうか)は、けやきとの思い出を「夏の暑い日に日陰で休んだ」と話し、宮本裕奈さんは、音楽会の感想を「特に歌の練習を頑張ってきた。緊張したけどうまくできた」と話しました。

子どもたちの歌声や元気な声が届き、けやきは葉を揺らしながら喜んでくれるようでした。

3月で学校は閉校となりますが、校庭に残るけやきに、私たちや地域のことをずっと守ってほしいという児童のみなさんの思いが伝わりました。



▲PTAのみなさんが作った「シンボルけやき」と書かれたTシャツを着てけやきの前で合唱



▲1年生から6年生までが演じた音楽劇「けやきものがたり」

子育て情報紙『こども目線♡かまっぴ♡』

16号編集作業に宮若市から参加

11月13日(水)、寄ってこハウスで行われた『こども目線♡かまっぴ♡』の編集作業に、宮若市の子育て連絡会「きらりん」(代表 田原絵里さん)が参加されました。この連絡会は宮若市で活動している4つの子育てグループで組織されていて、先月、本会が運営する子育てリユースセンターを視察に来られたことがきっかけで知り合うことができました。

最初は、少し緊張していましたが、子ども同士が仲良く遊ぶうちに自然と打ち解け、いろんな意見が出るようになって、編集作業も順調に進みました。田原さんは、「みんなでわいわいおしゃべりしながら作るこの雰囲気がいいですね。また参加したいです」と話され、新たな輪が広がり始めました。

この情報紙は、市内の子育て支援センターや図書館、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス等に置いてあるほか、社協のホームページからもダウンロードできますので、ぜひご覧ください。



かまっぴに新たなつながり

まずは手にとってもらうために



毎月発行している広報紙「えがお」に対しては、「読み応えがあつていいね」や「楽しく読めるよ」といった嬉しい言葉が聞かれる一方で、「字が小さい」、「読みにくい」などといった厳しい声もいただいています。

より多くの方に親しみを持ってもらえるような広報紙をつくるためには、職員の日々の努力とスキルアップが必要ことから、11月8日(金)に広報紙づくり講座を開催しました。また、市内の福祉施設にも呼びかけたところ、4施設からの参加がありました。

講師には、宮若市役所で2006年から、広報「宮若生活」の編集を担当されている林慎治さんをお迎えしました。「宮若生活」は、全国広報コンクールにて7年間で5回も入賞し、幾度となくマスコミに取り上げられるほどの有名です。

林さんは、広報紙を讀んでもらうために、まずは手にとってもらうことが大切で

あると考え、第一印象を決める表紙の写真には、普段の生活では見ることのない目線から撮影した印象的なものを使うなど、こだわりをもって取り組まれていることを話されました。

また、余白の幅を揃えて紙面に落ち着きをもたせたり、踏み込んだ内容のキャプションを付けて興味を惹いたり、読み手の目線や気持ちを意識し、より伝わるよう工夫されています。

参加された施設の方からは、「新しい見方に気づかされました。参考にします」との感想が聞かれ、講座を通して、共に学ぶことができました。

今回学んだことを生かしながら、みなさんに読んでいただくような広報紙づくりに励んでいきたいと思っています。



▲第一印象についての説明を聞き、うなづくみなさん

寄り添い、共に歩んでいくことは・・・



11月15日(金)、桂川町住民センターで、飯塚市・嘉麻市・桂川町社協主催の公開講座「湯越事件」を開催しました。嘉麻市からは、民生委員など24名が参加しました。

講師には、2000年5月3日に起きた『西鉄バスジャック事件』の被害者である山口由美子さんと、子育てに悩む親の会の支援者である湯越由美子さんをお招きし、『寄り添い、共に歩んでいく』というテーマで講演いただきました。

山口さんは、恩師と福岡市に向かうバスの中で事件に遭遇しました。「バスを乗っ取る」と言った少年に、ナイフで10カ所以上も斬りつけられ、重傷を負います。大量の出血で地面に倒れ込んだ時、「彼はこんなことをしてしまおうほど傷ついているんだ。彼を殺人者にしてはいけない」と強く感じたと言います。一緒に乗っていた恩師を亡くし、大変辛い思いをされましたが、退院後、少年がいじめや不登校で苦しんでいたことを知った山口さんは、「自身の子どもが不登校を経験したこととも重なり合い、子育てに悩む『親の会』を立ち上げたり、居場所づくりに取り組まれ、現在も支援活動を続けられています。

事件をきっかけに、「自身の子どもの向き合い方も変わり、心に寄り添うことができるようになったそうです。子どもが学校に行けなくなった時、親は怒りや焦りを感じてしまふけれど、子どもの中の生きていく力を信じ、ありのままを受け入れることが大切だと話されました。

現在、その『親の会』で支援者として活動されている湯越さんは、息子さんが、大学受験の失敗を機にひきこもるようになり、家の中で怒鳴ったり暴力をふるったりしていた辛い過去の経験を話されました。精神的にもきつくなり、希望を失いかけた時、精神科の先生や『親の会』と出会い、支えられ、子どもを信じて受け止め、待つ覚悟ができたそうです。そうすることで息子さんは穏やかな表情に戻り、今では年に何度か小説を書かれていて、入選もされています。20年間向き合ってきた日々のなかで、周りがかけてくれたあたたかい言葉が宝物になっていてと語られ、言葉のもつ重みを改めて感じました。

参加した民生委員や関係機関、各社協の職員40名は最初から最後までお二人の話を真剣に聞きました。貴重なお話を聞くことができ、寄り添い、共に歩んでいくことはどうということなのか、地域ではどういった支援ができるかということを考え直すことができた有意義な時間となりました。

稲築地区の行政区には、地域での福祉活動を実践する福祉推進員が25名おられ、見守り活動や声掛け、ちよっとした手伝いなど、顔の見える関係づくりを進めています。それぞれに様々な課題を抱えています。

そこで、その課題解決に向けた取り組みや常日頃からの関係づくりについて実践者に話を伺うため、10月30日～31日に福祉推進員研修を実施しました。

1日目は、中津市社会福祉協議会耶馬深支所に伺いました。「災害に対応できる地域づくり」とは「テーマに、平野義信さん（下郷地区集落自治委員）と松井和盛さん（下郷地区宮園集落自治委員、橋本・宮園地区民生委員）から、想像を超えた災害にどのように対応したのか、要援護者の方をどう支援したのかなどについて事細かにお話しいただき、災害に対する日頃の備えや地域住民同士のつ



▲ 支援を拒む方へどう声掛けするのか、積極的な意見が飛び交う



▲ 濁流の中要援護者を救出された松井さんの鬼気迫る話に息を呑む



▲ 地図や写真を使って、当時の様子を詳しく説明する平野さん

ながらが大切であることを学びました。

2日目は、「関係を拒む方へのアプローチ」をテーマに、上毛町社会福祉協議会にて、職員の下佐百合さんに話を伺い、ワークシヨップを行いました。周囲との関係を拒み、ゴミが散乱した住宅で生活されていた方へどのようにアプローチしていくかをグループに分かれて話し合つと、「一人ではなく二人で会いに行こう」や「本人がどうしたいかを聞く」など、自分の地域を思い描きながら、真剣に考えておられました。

研修に参加された方からは、「地域の要援護者を把握するマップづくりを試してみたい」や「支援を拒む方へ寄り添うことの大切さを学ぶことができ」との感想がありました。今回学んだことを生かし、それぞれの地域での実践に向けた取り組みをともに進めていきたいと思ひます。

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください！



坂本 句くん 優愛ちゃん

保育園で大好きなありた先生とみんなで鬼ごっこをしました。とても楽しくて、ニコニコ笑顔になりました★そして最近、もう一つ嬉しいことがありました。休みの日によく遊びに行っている、いとこのママのお腹に赤ちゃんができました！いとこが増えるから嬉しいね♪女の子が産まれてきてほしいな～♡



大石 直美さん

私が勤めている会社が、今月より株式会社となりました。長年の努力が報われたようでとても嬉しく思っています。これからも地域の発展のために笑顔で頑張っていきます！



柳 仁胡ちゃん 北原 葵ちゃん

2人で仲良く遊ぶことがとても楽しくて笑顔いっぱいになりました。仁胡ちゃんは11月1日で1歳になり、みんなで一緒にお祝いしました！いつも可愛い笑顔で周りの人たちを癒しています。（2人のお母さんにお話を伺いました。）

今月のご案内



○12月18日(水)
クリスマス会
～ホットケーキ作り～
※エプロン、三角巾
をお持ちください。

○1月15日(水)
小物づくり

～キーホルダーを作ろう～
キャラクターなどの好きな絵を
お持ちください。
※場所はいずれも
碓井千歳会館です。
※時間はいずれも
10時～12時です。



○12月12日(木)
場所：山田ふれあいハウス
○1月16日(木)
場所：寄ってこハウス
※時間はいずれも
13時～15時です。



○12月26日(木)
時間：13時30分～15時
場所：稲築住民センター
～ひきこもり経験者を
招いての勉強会～

○1月30日(木)
時間：13時～15時

場所：寄ってこハウス
～おしゃべりや情報交換～

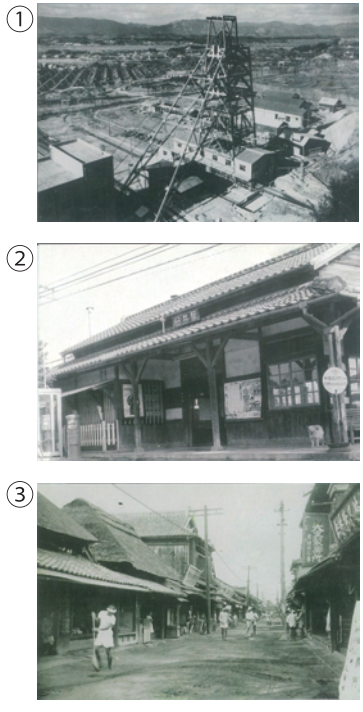
年始の挨拶にもご活用ください

嘉麻市社会福祉協議会では、4地区の昔懐かしい風景をポストカードにして販売しています(4枚1セット200円)。
ふるさとを離れて暮らしている方へのお便りに、また年始の挨拶にもぜひご活用ください。

嘉麻市社会福祉協議会事務局 住所：嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内 電話：0948-42-0751	カッホー馬古屏 住所：嘉麻市牛隈882番地1 電話：0948-57-2222
--	--



▲雪の日吉峠を走る蒸気機関車(昭和45年)



上から、①東洋一といわれた三井山野第一竖坑(昭和30年頃)。②上山田線の廃線まで木造駅舎で親しまれた臼井駅。③昭和初期の大隈町の町並み。

年末年始の休館日のお知らせ

山田ふれあいハウス	碓井千歳会館
平成25年12月28日(土) ～平成26年1月4日(土) 嘉麻市上山田502番地6 TEL:0948-52-1847	平成25年12月28日(土) ～平成26年1月5日(日) 嘉麻市下臼井1050番地19 TEL:0948-62-3538

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

???? 問題

千手小学校のイベントで、児童は何の木の前で歌を歌ったでしょうか。

- (1)もみの木 (2)くりの木
(3)けやきの木

- 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、12月27日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。
●送付先 〒820-0205
嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tik@kama.syakyo.com

- 前号のクイズの答え (3)
足白小学校で来年1月に開催予定の閉校記念イベントはどんと焼きでした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。
・社協だよりに感謝しています。地域のことがよくわかり、会員に加入しようかとも思っています。今度は特に避難所のことで安心しました。ありがとうございます。

・介護体験記を読んで、うなずいていました。私は実母なので言いたいことは言っていますが、高齢者特有の不安、という言葉に特に共感しました。四六時中一緒ではありませんが介護する方も大変なんだなあと実感しています。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



ボランティアさんに聞きました

本会が実施する日中一時支援事業で、音楽を通して子どもたちと接しながらボランティアをしている山戸さんにインタビューしました。

●ボランティア活動を始めたきっかけについて教えてください。

さい。嘉麻市で一人暮らしをしている母が、稲築にある高齢者施設に入所しました。入所に至るまでは、民生委員の方をはじめ多くの方々に助けられました。そこで、助けていただいた嘉麻市の方々に恩返しをしたいと思い、ボランティア活動を始めました。



▲ヴィオラを弾いている山戸理恵子さん（福岡市在住）



▲ピアノの演奏に合わせて、子どもたちもおもちゃの楽器で楽しそうに演奏しています。

●山戸さんが弾いている楽器について教えてください。

現在、音楽教室でピアノとエレクトーンを教えています。その他に『こするたたくはじく』など、多彩な表現で楽しめる『バイオリラ』という楽器を弾いています。

●日中一時支援事業で、子どもたちと実際にふれあってみての感想を聞かせてください。

初対面の子どもたちがピアノに合わせて歌ったり、楽しそうに聞いてくれたので、とても嬉しかったです。名前を覚えてくれて、話しかけてくれる子どもたちもいて、すごく癒されるし、なにより可愛いですね。

ボランティア募集

もちつきのお手伝い

～ほのぼのサークルはぐるま～

ほのぼのサークルはぐるまでは、もちつきのお手伝いをしてくださる方を募集しています。

日時 平成26年1月12日(日)
10時～14時

場所 嘉麻北日中一時支援事業所
(嘉麻市鴨生339)

内容 もちつきのお手伝い

募集締切 平成25年12月27日(金)

クリスマス会・もちつき大会のサポート

～通所介護 うすいの里～

うすいの里では、クリスマス会ともちつき大会において、スタッフのサポートをしてくださる方を募集しています。

日時 ①クリスマス会 12月18日(水) 14時～15時
②もちつき大会 12月28日(土) 9時30分～12時

場所 通所介護 うすいの里 (嘉麻市下臼井1055)

内容 利用者の方の話し相手、レクリエーションのサポート
募集締切 ①12月11日(水) ②12月20日(金)

備考 当日は動きやすい服装でご参加ください。



原田正純の道

水俣病と闘い続けた

医師の生涯



著者／佐高信
出版社／毎日新聞社

1956年、熊本県の不知火海に面した地域で起こった「水俣病」が公式に認定されました。水俣病は、手足がしびれる、目に見える範囲が狭くなる、痛みを感じにくい、耳が聞こえにくい、言葉がはっきりしない、まっすぐ歩けないなどの症状を引き起こす病気で、チッソという会社の工場が海に流す廃液に含まれる有機水銀に汚染された魚や貝を毎日たくさん食べた人たちがその病に侵

されました。
原田正純^{まさずみ}さんは、水俣病の実態を解明するために、自ら現地におもむいて診察を続けた医師で、つねに笑顔で患者に寄り添ったその生涯がこの本には書かれています。

自分の主張を曲げることなく、チッソという大きな会社や背後にある国に患者とともに断固として闘っていくその姿に原田さんの正義を感じます。

水俣病の闘いは、60年近く経過した今でも続いており、なお、そこから生まれた偏見と差別の歴史にも終止符は打たれていません。読み進んでいくうちに、東日本大震災まで「原発は安全だ」と言い続けた企業と国の姿が脳裏に浮かんできました。原発の脅威に怯えて暮らす方へ思いを馳せることにもなった一冊でした。

(木原)

炭鉦^{ヤマ}の記憶

先月のこのコーナーで、下山田地区にあった日炭山田炭鉱について取り上げました。左の図は、その記事を読んだ阿座上利雄^{あがみ}さん（枝坂）が友人の資料を参考に手書きされたものです。この図をもとにご近所に住む中村市治^{なかつむ}さんから、現在の場所と照らし合わせながらどこに何があったか等を教えていただきました。



▲選炭機があつた所

写真のようにまわりには家が立ち並んでいます。空き地のようになって残っています。「宮之町」や「旭町」には炭住が並んでいたのですが、閉山して10年経った頃から梅林公園が設置されました。その近くに第一坑があり、炭車は下り坂になっていく線路を下って旧下山田駅に運ばれていました。中村さんは、この辺りでよく遊んでいた子どもの頃を懐かしそうに振り返り、当時の思い出を話してくださいました。現在は子どもの姿は少ないですが、梅林公園の梅の開花頃には、昔のように多くの人で賑わいます。

炭鉦時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。
嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。
TEL 0948 (42) 0751



42,000円

思いの詰まった リングプル

福岡県立嘉穂総合高校嘉麻市立大隈城山校では、生徒会のみなさんが中心となって、リングプルやペットボトルキャップの収集活動を行っています。

生徒だけでなく、保護者や地域の方にも協力を呼び掛けて、今年はおよそ21kgのリングプルが集まったそう。10月20日(日)に行われた一夜城祭りの贈呈式で、文化祭のバザーの収益金と共に本会の村上会長に手渡されました。

生徒会長の松尾拓弥さんからは「いつもお世話になっている嘉麻市に少しでも恩返しができると思って集めました」と、挨拶がありました。

今回いただいたリングプルは、業者で換金し、子育て世帯へ貸し出ししているチャイルドシートの購入費に充てさせていただきます。生徒の皆さん、ありがとうございます。

チャイルドシートに変身

嘉麻市社協では、アルミ缶の回収活動を行っています。

換金したお金でチャイルドシートを購入し、貸し出すことで、乳幼児の安全と子育て世帯の経済的な負担の軽減を図っています。



収集活動を通して、子育て支援の輪に加わっていただければと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



指定葬祭場紹介

いすや会館

嘉麻市牛隈 1822
☎ 57-4444

「お葬式って…どうしたらいいの？」

「費用っていくらかかるの？」

ご葬儀に関して、ご不明な点が沢山あるかと思いますが、いすや会館では、専門の係員が随時わかりやすくご説明させていただきます。事前相談も承っておりますので、お気軽にご相談ください。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、いすや会館を含め、市内に8カ所あります。

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------|----------|
| セレモニーホールおおつか | ☎52-1212 | かほ葬祭 あじさい会館 | ☎62-5566 |
| 善光会館 稲築会場 | ☎83-5000 | おかむら葬祭 岡村会館 | ☎42-4420 |
| 飛鳥会館 南斎場 | ☎(0120)42-2241 | きど葬祭やまさ碓井斎場 | ☎62-4499 |
| ひさつね会館 | ☎52-0758 | | |

みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

10月1日～10月31日受付分
●香典返し

【漆生本村】

親族 松熊知行様

【山野第二】

親族 山田武宏様

【下臼井東】

親族 山田エミ子様

【熊ヶ畑第二】

親族 松岡美津子様

【西川】

親族 大田ノブエ様

【木城】

親族 三好フジコ様

【大橋】

親族 坂口豊子様

【新原】

親族 大塚カスミ様

【石ヶ崎】

親族 猿本トメ子様

【古河】

親族 辻塚俊一様

【上牛隈】

親族 古賀弘之様

【下牛隈】

親族 浅田美由貴様

親族 浅田勇一様

【東畑】

親族 伊藤敬三様

【飯塚市】

親族 藤本千代子様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同

【子育てリニューズ】

漆生中央 横山貴代美様

【アルミ缶】

漆生中央 田中茶舗様

【飯塚市】

飯塚市 吉村弘美様

【古切手】

口春 山下春寿様

【リングブル】

東岩崎 山下サヨミ様

【子育てリニューズ】

漆生中央 高橋和恵様

【飯塚市】

飯塚市 岡本美江様

【古切手】

口春 山下春寿様

【リングブル】

東岩崎 山下サヨミ様

【子育てリニューズ】

漆生中央 高橋和恵様

中央 ゆうひが丘 明石睦則様
古河 堀原京子様
大手 堀原京子様
宮吉 高倉洋子様
鳴生第一行政区 高倉洋子様
理容セブン 高倉洋子様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます)

10月1日～10月31日受付分

【漆生本村】松熊三和子
【下臼井東】重松亜未
【平東】久保田範子、関直樹、服部光孝、中村カズエ、田中弘光、末武勲、山本重勝、堤勝、宇野泰司、飯田和代、瀬戸山照香、藤田義輝、米矢正志、丸山光男、高木チツ子、佐野君代、安倍緑、林田政光、西まゆみ、鷺山誠、櫻井孝一、横谷富士江、柴田日出喜、高橋正吉、柴田ツネミ、岡本忠春、佐藤忠侯、梶原清、鬼丸好輝、高松徳一、松正和利、篠原千登勢、中山スエ子、橋本和利、金堀俊雄、橋本進、雪竹雪江、岩本紀子、芳野正則、西田鉄也、酒井ヒロ子、加藤安子、佐藤侃恵、杉原芳子、屏秋善、松尾美代子、大隈繁行、野瀬まさ子、矢羽田正人、石川愛子、小坪敏子、山口美香子、松隈安子、入江守、三木泰信、梶原信義、佐伯照雄、岩井モリ子、平川勝利

【緑ヶ丘】伊藤久子
【平山】實藤仁美
【飯田】山口菊江
【下宮】坂本智恵子、内橋正井上學、坂井政数、平野千恵子、林田一輝、椿甫、石松初美、仲道正行、小野京子、今村きよ子、松岡伸彦、佐野敦有吉国士、松岡ミツ、大里一男、井上正一、矢野栄一、都築光一、加来京子、大塚秀樹、本岡サナエ、大上啓子、森勇雄、古賀聖一、重松嘉隆、重松鈴子、山藤やす子、廣谷マリ子、篠原孝一、仲道庸正、森茂

【大橋】山口高広

心配ごと相談

と き：1月8日(水) 13:00～15:00
と ころ：稲築住民センター

と き：1月22日(水) 13:00～15:00
と ころ：稲築住民センター

法律相談

と き：1月9日(木) 13:00～16:00
と ころ：山田ふれあいハウス

と き：1月23日(木) 13:00～16:00
と ころ：稲築住民センター

1月の総合相談

法律相談は予約が必要で
す。先着順となっています
ので、お早めにお申し込み
ください。

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751



大阪府和泉市在住
岡崎真由美さん
(旧姓 山本)
山野第一出身

「お義姉さん、こんなのであるけど書いてみらんのですか？」お盆休みに帰省中、弟嫁に何げなく聞かれました。「ふるさとへの手紙」…ふるさとについて改めて考えることもめつたにないので、40歳を過ぎた今、この機会に「ふるさと」を考えてみようと思ひ承諾しました。

この年齢になると手紙自体を書くこともなく、文章らしい文章を書く機会もない、学生時代に卒業論文を書いて以来かななどと思ひながらペンを走らせることにします。

大学時代は京都で過ごし、卒業後は福岡に戻りましたが3年ほどで結婚して大阪へ。もう16年過ぎてしまいました。人生の半分を稲築以外で過ごしています。

その間にこんな道あったっけ？あれ、あの店は？最近では、あの店が某有名店に！見た目の変化に驚くとともに、「あれ知らなかったん？だいぶ前からばい」などこっちに住む父や弟に言われ寂しさも感じてしま

います。その中でも一番大きな変化は、稲築町から嘉麻市になったことでしょうか。

ただこうした変化の中にありながら、ふるさとは懐かしさを感じるより今だ身近にあるという感覚です。「筑豊弁」

学生時代からかかさずかかってくる毎週日曜日の父母からの電話。お互い一週間の出来事を筑豊弁で報告しあうからでしょうか。こつてりした関

西弁に染まらず、なかなか筑豊弁が抜けられないのは「うばい」「うちや」この何気ない父母との会話の中にふるさとを感じ、安らぎを感じていたからだと思います。

方言一つでそこまで…と思われるかもしれませんが、慣れ親しんだ言葉って本当に楽ですよ。最近ではさすがに関西弁にも慣れてきました。元はやっぱり筑豊人。次に帰省したときには思いきり筑豊弁を満喫しようと思ひます。

コラム 交差点

「ボランティア活動を行って」

稲築志耕館高等学校

一年次一組

垣花 要

私は介護老人保健施設でおいさん、おばあさんたちとお話したり、施設の昼食の配膳や片付けの手伝い、体操やぬり絵などを行いました。施設で過ごされている皆さんはとても元気で驚くほどでした。おばあさんたちとは、昔話や最近の学校の様子などさまざまなことを話し、中にはこれからの高校生活のためになるお話もありました。今回のボランティアは3時間の短い時間でしたが、ボランティアへの関心をより深めたいと思ひています。

一年次三組

松原 成也

私はふれあい・いきいきサロンでボランティア活動を行いました。ステージ作りや昼食の用意と片付け、そしてサロンの方々の話し相手などを行いました。私がボランティア活動をしていたことは、いざやってみると思った以上に難しいということでした。どのように行動すればいいのか、初めがわからなくなったり、初めて話す人とのように接すればいいのかを深く考えすぎ、うまく話すことができませんでした。今回の活動は自分にとって初めてで、いろいろな事に気づかされました。この経験を今後の生活に活かしていこうと思ひました。

一年次四組

宮本 桃愛

私が行ったボランティアは、障がいを持った子どもたちと遊ぶことです。ボール遊びが好きの子やダンスが好きの子、絵を描くのが好きな子がいるので、それぞれの子に合わせて楽しく遊びました。最初は緊張や不安で、子どもたちに対して何を話していいのか全くわかりませんでした。慣れるにつれ、子どもたちの笑顔や楽しそうな様子を見て、ボランティア活動に参加してよかったと思ひました。最後はお別れするのが寂しいくらいでした。私が今回の活動で学んだことは、言葉だけではなく手や身体でもコミュニケーションをとることが大切であることです。将来、必ずこの経験が役に立つ日が来ると思ひます。

災害時にたくさんの方に情報を発信できるように、facebook ページを、平成 25 年 8 月に開設しました。災害支援活動報告や日々の出来事を掲載しています。みなさんの、「いいね！」をお待ちしています。
<https://www.facebook.com/kama.swc>

★ 編集後記 ★

子育て情報紙『子ども目線♡かまっぴ♡』を発行して、3年が経ちました。編集作業は、子ども連れで来られる方が多いので、お子さんの成長の早さに小さな目をさらに細めています(笑) にぎやかな編集作業を一度見に来てください。(きはら)

地域のホットニュースの取材では、母校である千手小学校に行くことができ嬉しかったです。児童のみなさんの発表を見ながら、友達と「けやきの歌」を口ずさんでいたことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。どっしりと迫力のあるけやきをぜひみなさんにも見てもらいたいです。(みぞくち)

嘉穂総合高校嘉麻市立大隈城山校と稲築志耕館高校では、ボランティア活動が活発に行われています。今秋、私も生徒の皆さんと接する機会が何度かありました。若いパワーに圧倒されつつ、自分が学生だった頃を思い出しながら、たくさん元気をもらいました。(たけがわ)

さっそく広報紙づくり講座で学んだことを参考に、レイアウト作成や取材を行いました！なかなか思うように表現できず、伝えることの難しさを改めて感じましたが、今後も試行錯誤しながら頑張っていこうと思ひます。(かわかみ)

“ボランティアさんに聞きました”のコーナーで、山戸さんが活動を始めようと思ひたキッカケを話されています。それがとても心に残り、話を聞いていて感動しました。みなさんも、すてきなキッカケをみつけてみましょう♪(なかしま)

編集後記を書いている本会職員の間顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。